

草のみどり

Kusa no Midori

2022.

1

Special feature
FRONT LINE 法学部

巻末特集
オンラインキャンパスライフ体験会

本号に
生協利用券を
同封します



国際経営学部



Vol.11

新型コロナウイルスを経て 見つけた挑戦できる場所

私立帝京大学高等学校（東京都）出身
国際経営学部国際経営学科2年

坂田 優奈
さかた ゆうな



いました。ですから、新型コロナウイルス感染症によって、新たな友人作りをはじめ、さまざまな活動が制限される中で月日が容赦なく進んでいくことに、このまま大学生

広げる機会を作ってくれたものの、オンラインとは違う友人作りの難しさを感じたことを覚えています。

私とは大学という場を勉学に励むだけでなく自分が成長できる場にしたと思っています。

私は大学という場を勉学に励むだけでなく自分が成長できる場にしたと思っています。

また、国際経営学部は学生が新しいことに挑戦しやすい場所だと言えます。チャレンジ精神旺盛な学生も多いです。2019年に新設された学部ということもあり、学部を自分たちでより良くしていくという起業家マインドを持つ学生が多いという印象を受けました。

その一例が、学生が中心となって設立した団体の活動です。そのすべては、学生のやりたいという気持ちを考慮した教員や職員の方々の尽力のうえで成り立っています。実は私も、2021年にPCUBEDというビジョン団体を設立しました。PCUBEDの目的は、国際経営学部の学



晴れた日の学校

新年明けましておめでとうございます。早いもので新型コロナウイルスの感染拡大から約2年が経過し、一瞬にして変わった私たちの日常は今では当たり前のようになってしまいました。状況が日々目まぐるしく変化していく中で、2021年は皆さまでとってどのような年になったでしょうか。私自身の2021年を振り返ると、「挑戦」といったワードが浮かびます。ここでは、私のコロナ禍における国際経営学部生としての2年間の軌跡と、国際経営学部の魅力についてお話しさせていただきます。



イベントで司会を務める筆者



PCUBEDイベントの様子

生と実社会をつなぐ場を作ること。授業で学んだ知識をアウトプットできる機会が必要だという友人の一言がきっかけで設立しました。これまでに、中央大学内のビジネスコンテストの優勝者・オンラインビジネスコンテストの優秀賞受賞者と、国際経営学部の木村剛准教授を招いての講演会の開催や、各種イベントの実施といった成果を挙げています。

PCUBEDのほかに、国際経営学部のメインイベントである企業訪問をサポートする団体や、異文化交流の機会を設ける団体、国際経営学部の活動を発信する広報団体などもあります。それぞれの学生が新しいことにチャレンジしようという向上心を持ち、それを全力でサポートしてくれる環境が整っている、そここそが国際経営学部の進化の理由だと考えます。

新型コロナウイルス感染症によって世界がものすごいスピードで変化しています。簡単に海外に渡航できないなど、私たちの行動は制限ばかりされているように感じるかもしれません。ですが、それによって自分の生活を振り返る機会ができ、今の自分ができることに挑戦しようと思えるようになりました。今後も大学で友人と勉学に励み、新しいことに挑戦できる環境に感謝しながら、日々前進していきたいと思っています。

最後になりましたが、この場をお借りして、両親をはじめこれまで私を支えてくださった方々にお礼申し上げます。

2022年も皆さまにとつて素敵な1年になりますようお願いいたします。

国際経営学部だより

臨機応変に考え、行動できる逞しさ

国際経営学部准教授 中村 大輔 なかむら だいすけ



こんにちは。経済学領域を担当しております国際経営学部の中村です。経済学入門、ミクロ経済学、経済地理学、国際経営立地論、入門演習、専門演習Ⅰ～Ⅲを英語で開講しています。次年度は卒業を目前とした専門演習が新たに2つ加わります。一連の専門演習では、経済立地論の分析力の深化、そして本学と「連携協力に関する基本協定」が締結されている多摩市との「地域自治形成に向けた住民意識調査及び住民参画開拓のための共同研究」を手掛けています。本事業はもうすぐ3年目に入ります。今般の社会状況下、さまざまな制約の中に置かれながら、行政担当者の方々とゼミ生とで知恵を寄せ合い、非接触形でのオンライン型ワークショップを開催するなど、取り組みを止めることなく運営しています。ゼミメンバー作成の資料や素材は、常にわかりやすく親しみに富む完成度の高さです。

これまでは経験のなかったオンライン型授業から得た知識や工夫が伝わってきます。通常の授業科目においても、履修者の皆さんの多くは、受講形態に左右されることなくわからない点をその都度質問し、ディスカッションに積極的に参画しておられます。数カ月前の新年度ガイダンスでは、「対面でお目にかかる日を心待ちにしています」と前年度パソコンの画面越しに伝え合った履修者の方々が、「お互い大変でしたが乗り越えましたね」と満面の笑みで立ち寄ってくださいました。どのような状況であっても、臨機応変に考え、行動できる学生の皆さんのたくましさを目の当たりにし、将来のさまざまな舞台での活躍の場を思い浮かべるとともに、その活躍の範囲を卒業までに無理なく引き出しにいける教育環境を丁寧に整えてまいりたいと存じます。皆さまにおかれましては何とぞご自愛ください。